

電波有効利用委員会（第5回） ご説明資料

2025年8月28日
Sharing Design株式会社

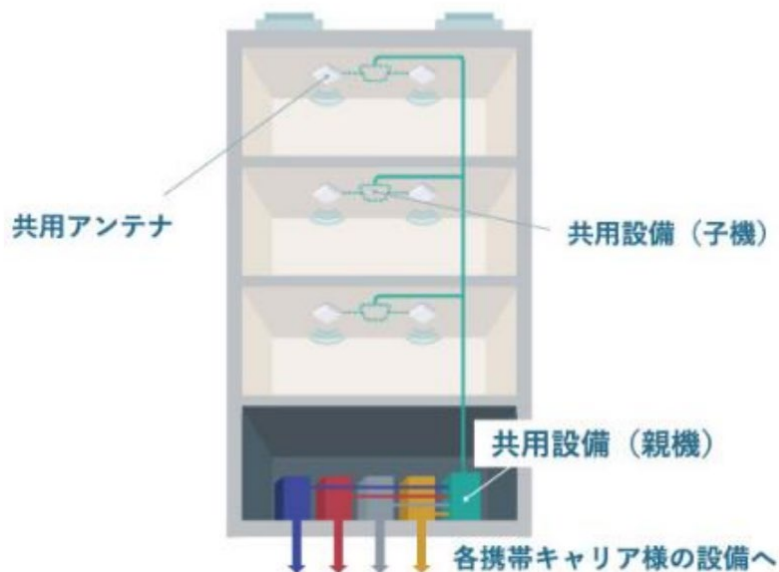
- 1. 当社概要ならびにインフラシェアリングの取組**
- 2. 5Gインフラ整備推進における屋内市場の重要性**
- 3. インフラシェアリングの加速ならびに領域拡大**

1. 当社概要ならびにインフラシェアリングの取組
2. 5Gインフラ整備推進における屋内市場の重要性
3. インフラシェアリングの加速ならびに領域拡大

会社名	Sharing Design株式会社（SDI）
設立年月	2021年2月
株主構成	住友商事株式会社 80% 東急株式会社 20%
代表	代表取締役社長 氏本 祐介
事業内容	5Gを中心としたインフラシェアリングの提供（電気通信事業）

設置イメージ（屋内）

- ✓ 5Gに対応した携帯電話設備の共有化 & 一本化



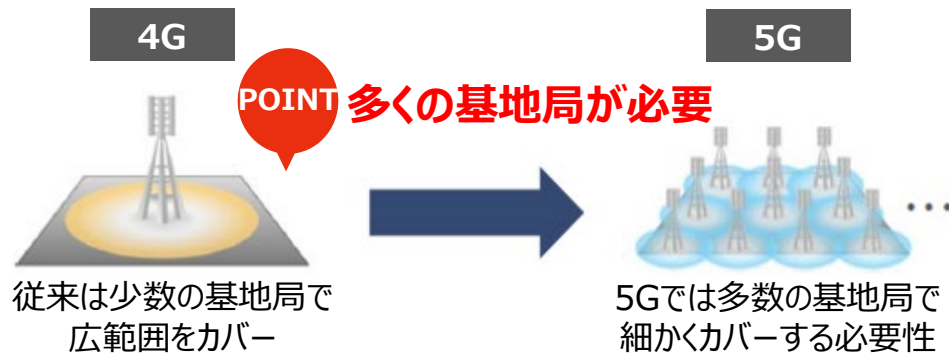
設置イメージ（屋外）

- ✓ キャリア毎に設置していた屋外アンテナの共有化 & 一本化



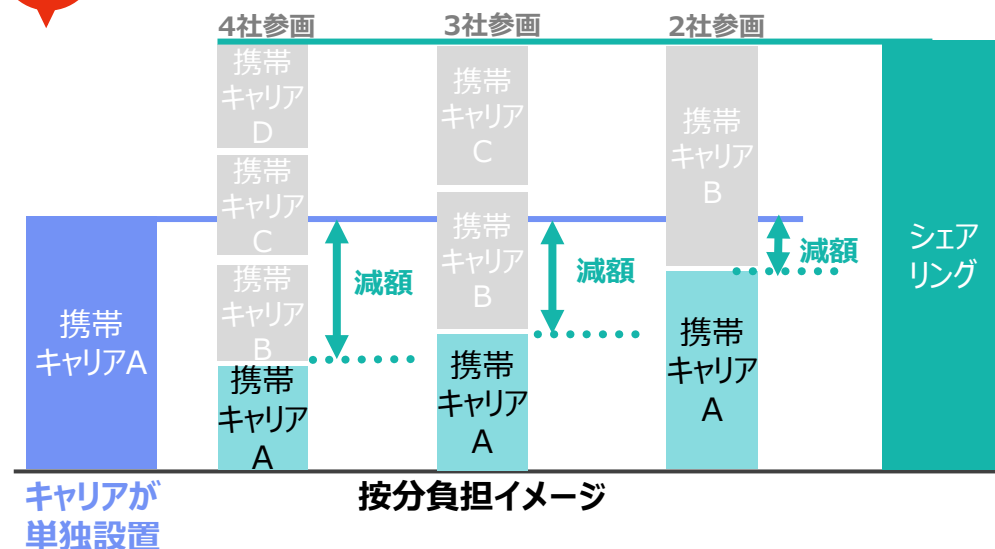
スマートポール（東京都新橋SL広場）

5Gによる基地局ニーズの拡大



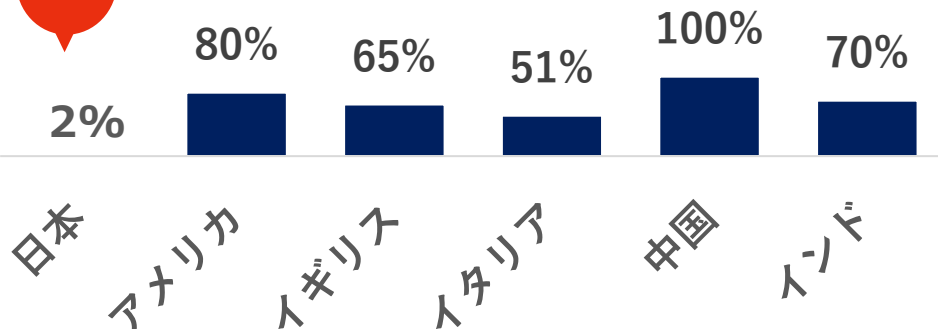
通信キャリア様のメリット

POINT 費用の按分負担により、単独設置より安価での提供可能



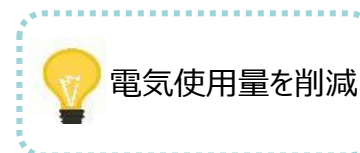
諸外国でのシェアリング比率

POINT 日本ではシェアリングがほぼ未導入



環境負荷の軽減

POINT 設備・資材の共用化や電気代削減により、環境配慮も実現



■ 不特定多数の多くの人が集まる施設（商業施設、駅、空港等）を中心に導入推進中

商業施設



駅・地下街



空港



アリーナ・スタジアム



屋外



- 会場内の屋外及び主要屋内施設におけるインフラシェアリングでのエリア化実施
- 会場内完全キャッシュレスに対応

屋外基地局 事例



※来場者導線箇所(目隠しフェンスパターン)



※バックヤード箇所(通常フェンスパターン)

屋内基地局 事例



※露出許容箇所(アンテナ露出パターン)

1. 当社概要ならびにインフラシェアリングの取組
- 2. 5Gインフラ整備推進における屋内市場の重要性**
3. インフラシェアリングの加速ならびに領域拡大

- 弊社での対策実績を鑑みると、“屋内が5G化されている施設”は限定的。
加えて、“5G化されているエリア”も限定的であるのが実態。

某施設における4Gと5G対策領域の比較（SDI実績）

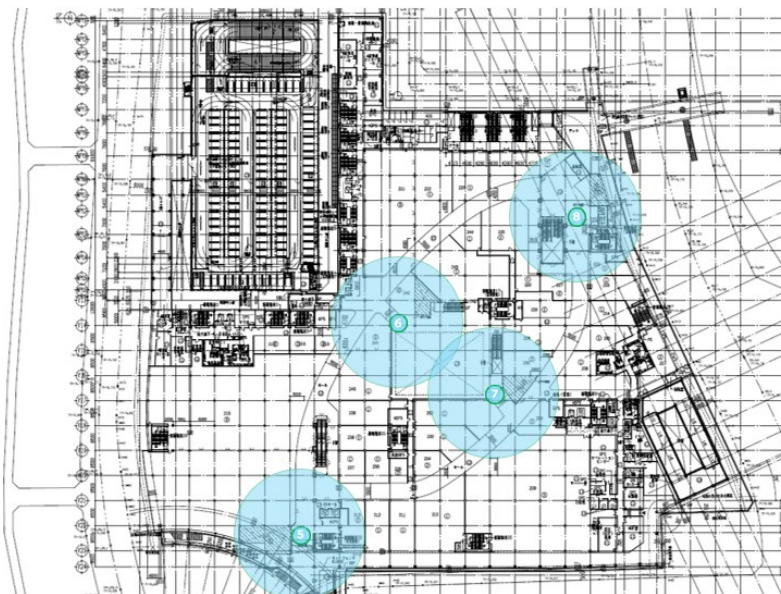
4G対策領域

4Gは全館対策



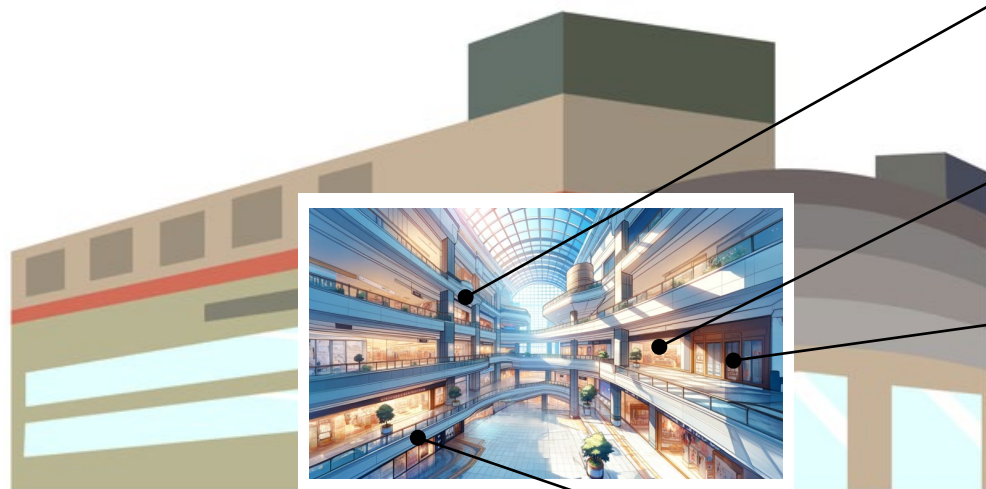
5G対策領域

5G対策されている箇所はごく一部



- 施設内の通信サービスの普及拡大中
- 「5Gならではの」実感に伴う高品質な通信サービスは限定的（ニワトリと卵）

施設内の通信サービス例



デジタルサイネージ

イベント参加率増やテナント動員数増に寄与

キャッシュレス・多言語対応

QR決済、アプリ翻訳との連携

顧客導線・混雑状況

回遊施策やレイアウト改善に活用

スマートロック・防犯

出入口等の開閉センサー、不審者検知に活用

エネルギー管理・最適化

冷暖房や照明などのエネルギー制御に活用

5G化の加速

屋外市場

5G化 98%※

※総務省デジタル田園都市国家インフラ整備計画における5G人口カバー率は屋外通信を念頭においた定義であり、2023年度末に98%を達成。

順調

●キャリア間競争エリア

●NTN(Non-Terrestrial Network)も広がる

屋内市場※

5G化 -%

(計測困難ながら僅少と推測)

※地下鉄、隧道等も含む。

今後加速が
求められる

●総務省主導の屋内市場に
特化した**目標設定なし**

●キャリア非競争・共同エリア

⇒**シェアリング事業者との協調エリアへ**

政府による
・市場規模把握
・目標設定
・公的支援

シェアリング事業者
参入の促進・
競争の活発化

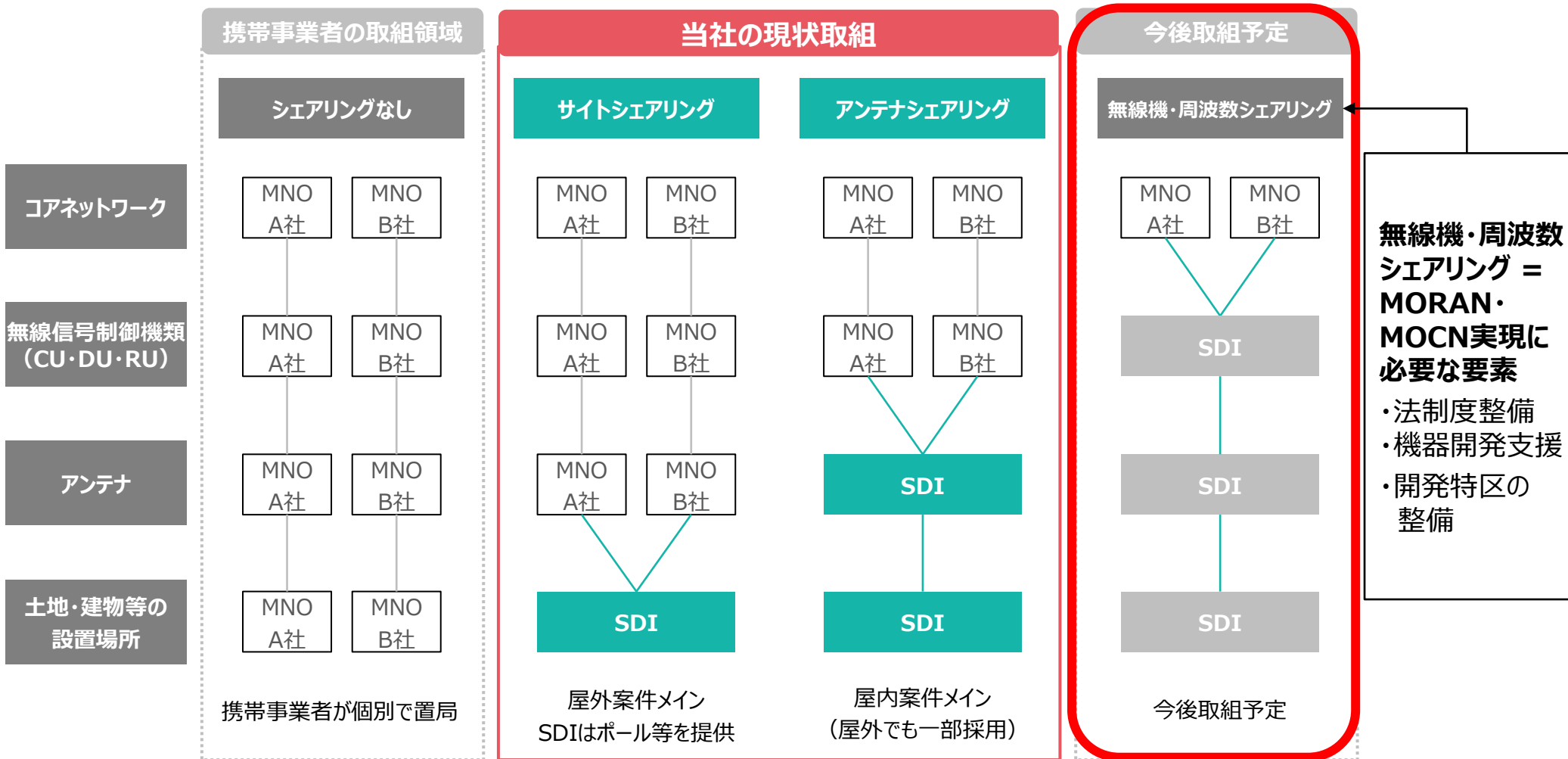
期待
効果

- ✓ 5G化の迅速化
- ✓ キャリア負担減による設備投資原資の増強
- ✓ 技術進化の加速

1. 当社概要ならびにインフラシェアリングの取組
2. 5Gインフラ整備推進における屋内市場の重要性
- 3. インフラシェアリングの加速ならびに領域拡大**

- “民間”インフラシェアリング事業者と公益社団法人移動通信基盤整備協会(JMCIA)の協調により地下鉄等の5G化を大幅に前倒しできると思慮。
2025年2月の公表のとおり、協力整備トライアルを推進中。
- 民間インフラシェアリング事業者の競争による費用低減や技術革新、ベンダー・施工会社の多様化等を推進

- シェアリング領域の拡大により、携帯キャリアの投資対効果を高めることが可能。
(同額予算でインフラ整備費用を圧縮しつつ、圧縮した分をエリア拡大に充当可能)
実現には**法制度整備、機器開発支援、開発特区の整備等が必要**。



屋内市場の重要性を鑑みた施策やシェアリングの一層の推進を要望

屋内市場の重要性

- ・屋内市場に特化した整備目標の策定
- ・屋内整備にかかる経済的含めた各種支援

民間インフラシェアリングの 加速支援ならびに領域拡大

- ・JMCIAスキーム等含めた国の5G化加速の後押し
- ・無線機/周波数シェアリング促進の支援